

# レジメン名称 (FOLFOXIRI + アバスチン (アプレピタントなし) q2w) 大腸癌

ID \_\_\_\_\_ 患者氏名 \_\_\_\_\_ 様 (性別 \_\_\_\_\_)

身長 \_\_\_\_\_ cm 体重 \_\_\_\_\_ kg 年齢 \_\_\_\_\_ 歳 体表面積 \_\_\_\_\_ m<sup>2</sup>

薬剤	投与量	投与日													
		1 コース 2 週間													
		Day 1	2	3	⋯	8	⋯	15							
アバスチン	5 mg/kg	↓													
イリノテカン	150 mg/m <sup>2</sup>	↓													
オキサリプラチン	85 mg/m <sup>2</sup>	↓													
レボホリナート	200 mg/m <sup>2</sup>	↓													
フルオロウラシル	2400 mg/m <sup>2</sup>	↓ 1 日目から 46 時間持続投与													
アロキシ 1V、デキサート (1.65) 8A		↓													
デカドロン (4) 内服 (必要時)	1~2 錠 1×朝	× ↓ ↓ 2, 3 日目に内服													

レジメンオーダ以外に必要な処方

必要時 : Day 2, 3 : 内服 デカドロン 4~8mg 1×朝食後 2 日分

### 注意事項

オキサリプラチンとレボホリナートは同時投与です。

投与方法 : 1 日目 ~			
1	生食 100mL、メインルートをプライミングし、止める		
2	アロキシ 1V、デキサート (1.65 mg/0.5 mL) 8A、生食 100 mL 30 分かけて点滴、下の側管から投与		
3	<u>アバスチン</u> _____ mg, 生食 100mL 90 分, (問題なければ) 次は 60 分, (問題なければ) 以降 30 分、下の側管から投与 注意 : 点滴時間は前回投与から 8 週以上経過している時は 90 分で投与 (初回扱い)		
4	<u>イリノテカン</u> _____ mg, 生食 250mL 90 分かけて点滴、上の側管から投与		
5	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <u>レボホリナート</u> _____ mg, 5%ブドウ糖 500mL (必ず 5%ブドウ糖で) 120 分かけて点滴、下の側管から投与 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">オキサリプラチンと同時に開始</span> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <u>オキサリプラチン</u> _____ mg, 5%ブドウ糖 250mL (必ず 5%ブドウ糖で) 120 分かけて点滴、上の側管から投与 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">レボホリナートと同時に開始</span> </td> </tr> </table>	<u>レボホリナート</u> _____ mg, 5%ブドウ糖 500mL (必ず 5%ブドウ糖で) 120 分かけて点滴、下の側管から投与 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">オキサリプラチンと同時に開始</span>	<u>オキサリプラチン</u> _____ mg, 5%ブドウ糖 250mL (必ず 5%ブドウ糖で) 120 分かけて点滴、上の側管から投与 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">レボホリナートと同時に開始</span>
<u>レボホリナート</u> _____ mg, 5%ブドウ糖 500mL (必ず 5%ブドウ糖で) 120 分かけて点滴、下の側管から投与 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">オキサリプラチンと同時に開始</span>	<u>オキサリプラチン</u> _____ mg, 5%ブドウ糖 250mL (必ず 5%ブドウ糖で) 120 分かけて点滴、上の側管から投与 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">レボホリナートと同時に開始</span>		
6	1 の生食を使用し、ウォッシュアウト、ゆっくり、適宜途中終了可、残は破棄		
7	<u>フルオロウラシル</u> _____ mg, 生食、 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">全量 210mL</span> 5 mL/時、46 時間かけて、ケモセーフセットを外して、インフューザーポンプにて投与		

投与方法 : 2, 3 日目	
1	必要時 : デカドロン (4) 1~2 錠 1×朝食後